（小３３）鹿児島市立八幡小学校
令和３年８月３１日

令和３年度　学校評価　自己評価書（１学期）

１　学校の重点目標

○　学習内容を確かに身に付け，人の話をしっかり聞き，自分なりに考え，発表できる児童を育成する。
○　めあてをもって体力つくりに取り組み，掃除や当番活動に進んで取り組む児童を育成する。
○　いつでも誰にでも元気よくあいさつや返事ができ，物を大切にできる児童を育成する。

２　課題と改善策

	評　価　項　目	職員	評価結果と改善方策
学力向上	１　学習の仕方の指導（準備，姿勢等）	3.3	・指導の効果が表れている。今後も継続指導する。
	２　家庭学習の内容や定着度の確認	3.1	・個に応じた家庭学習について指導が必要である。
	３　問題解決的な学習のめあての設定	2.9	・問題解決学習につながるようなめあてを設定する。
	４　主体的・対話的で深い学びとなる指導	2.6	・話合い活動等は，まだ難しい状況である。
生徒指導 郷土教育	１　ICT 機器の有効活用	3.3	・タブレット等を積極的に授業に活用した。
	２　情報活用・情報モラルに関する指導	2.7	・今後は家庭と連携した取組が必要である。
	３　学校支援ボランティア等の活用	2.2	・コロナ禍のため，１学期はなかなか活用できなかった。２学期はできるだけ活用したい。
	４　AEA との連携，外国語教育の充実	3.1	・学年担当を中心に，AEA と連携した授業ができた。
心の教育	１　挨拶・返事の指導	2.7	・挨拶はよくなっている。返事の指導にも力を入れたい。
	２　読書指導の充実	3.0	・隙間の時間に本を手にする習慣ができている児童が多い。今後も継続して取り組ませたい。
	３　いじめ・不登校「０」に向けた取組	2.9	・「学校楽シート」等を活用し，いじめ・不登校の未然防止に努めることができた。
	４　道徳の時間の充実	2.9	・道徳科の授業における対話的な活動が，まだ難しい。
	５　教育相談の充実	3.1	・全保護者を対象とした教育相談を実施し，保護者との情報交換や信頼関係の構築につなげている。
人権教育 特別支援教育	１　人権教育についての取組	3.0	・校内の言語環境等を整え，教児ともに人権意識の高揚を図っている。
	２　個に応じた指導	3.2	・それぞれの児童の実態に応じたワークシート等を準備し指導の充実を図っている。今後も継続する。
	３　適切な就学指導の充実	3.0	・コーディネーターと連携しながら，保護者との継続的な教育相談を実施している。
体力向上 保健指導	１　朝の体力つくりの励行	2.6	・運動会に向けて朝の体力つくりに力が入っていた。
	２　一校一運動（ラダー）の取組		・２学期以降，運動委員会を中心に取り組む。
	３　新型コロナウイルス対策	3.3	・学校と家庭とで連携した取組を行うことができた。
	４　食事のマナー・偏食指導の充実	3.1	・当面，全員前を向いたまま食べる指導を継続。
安全指導 防火防災	１　登下校の安全指導の徹底	3.0	・関係機関とも連携し，登下校の安全は守られている。
	２　廊下歩行の指導の徹底	2.9	・廊下を走る，遊ぶ児童が多い。再度指導の徹底する。
	３　移動教室の指導の徹底	2.9	・移動教室のルールを今後も継続して取り組む。
	４　災害時の指導の徹底	3.3	・「防災の日」のショートの訓練が実施できた。
教育環境	１　清掃指導の充実	3.2	・清掃指導強調週間の取組の反省を今後生かしていく。
	２　教室・廊下の整理整頓	3.0	・靴箱がきれいにそろえられるようになった。
	３　学級園の整備	2.8	・やや担当任せになっていた。各学級で責任をもって整備を行う。
	４　ごみの分別，節水・節電指導の充実	3.0	・ごみの出し方に課題がある。教師の見届けが必要。

３　次学期に向けての取組

○　２学期も継続して挨拶指導に力を入れて取り組んでいく。特に，来校者等への挨拶に力を入れる。
○　算数科を中心とした，授業改善や授業の充実に努め，児童の主体的・対話的な学習を推進し，その結果，児童の学力向上につなげられるようにする。
○　児童の交通事故が「０」となるよう，関係機関との連携を深めるとともに，安全指導の充実に努める。
○　一校一運動のラダートレーニングや校内持久走大会，チャレンジ鹿児島等に向けた体力つくりの取組を各学級の実態に応じて実践する。
○　新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の予防のための保健指導を充実させ，児童の発達の段階に合わせて具体的・継続的に指導していく。